

2026 年度
ファミリー入試Ⅱ期
・ 社会人入試・帰国生入試・
一般編入学試験【情報メディア学科・
日本文化学科・心理学科・
食文化学科】 共通
(11/15)

学力試験
<小論文>

<注意>

1. 試験開始の合図があるまでこの冊子は開いてはいけません。
2. この冊子は2ページあります。ページの脱落や解答用紙の汚れがあった場合には、監督者に申し出てください。

2026年度 ファミリー入試Ⅱ期・社会人入試・帰国生入試・一般編入学試験
【情報メディア学科・日本文化学科・心理学科・食文化学科】共通(11/15)

学力試験<小論文>問題用紙

受験番号() 氏名()

問 以下の文章を読んで、作者の考えを簡潔にまとめ、あなたの意見を加えて、600字以内の文章を完成させよ。

「半分だけ飲物の入った瓶をテーブルの上におきなさい。楽天主義者はそれを見て、『しめた、まだ半分ある』、厭世主義者は『ちえっ、もう半分しかない』という」

そういったのはバーナード・ショウ※でした。

これとよく似た小ばなしがあります。Aは江戸へ出ていきましたがすぐ舞いもどってこういいました。

「江戸というところは住みにくい。水まで金を出して買わなければならない」

おなじように江戸へ出ていったBはこういいました。

「江戸は住みよいところだ。水を売ってでも生活できる」

おなじ状態が見る人の視線によって正反対の価値を持ちます。悲劇と喜劇が視線を向ける方向によって自在に入れかわるように、物の価値自体も見方によって正反対の性質を帯びてきます。

小学生の女の子に親戚のおばさんが、

「学校のベルは授業の始めと終りに鳴るのね」

というと、その子が首を横にふって、

「ううん。学校のベルは休み時間の始めと終りに鳴るの」

と答えました。学校のベルが鳴るのは決められた一定の時刻であるのに、大人と子供でこれだけ受けとり方がちがってきます。あることの終りはすなわちつぎのことの始まりでもあります。アメリカで卒業式(学位授与式)のことをコメンメントといいます。これはもともと「始まり」という意味です。中国の老子や荘子はその哲学の中におなじような考え方を持っていました。

人はだれしも「美」はつねに美であると考え。美は同時に「醜」でもあることを知らない。だれしも、「善」はつねに善であると考え。善は同時に「悪」でもあることを知らない。「有」と「無」、「難」と「易」、「長」と「短」、「高」と「低」、「音」と「声」(音楽と単なる物音)、「前」と「後」これらの対立する概念は、あくまで相対的な区別にすぎない。(奥平卓訳『老子』)

「まだ半分ある」は「もう半分しかない」であり、住みよさは住みにくきであり、始まりは終りである。物ごとが、こういう矛盾する二つの性質を同時に持っていることを、人びとは生活の知恵としての体験の中からわり出し、うすうす感じていましたが、これを学問として体系だてたのが〈弁証法〉です。正しいことはつねに正しい、うつくしいものはどんな場合にもうつくしいというのではなく、弁証法では、条件が変わると、正は不正になり、美は醜になるというように、対立する二つの性質や価値が一つのものに含まれていると見ます。この考え方は経験の中から自然に会得され、日本のふるいことわざにも「楽は苦のたね、苦は楽のたね」「会うは別れの始め」など弁証法の考え方を体験的に法則化したものがよくあります。

(織田 正吉『笑いとユーモア』より)

※ジョージ・バーナード・ショー。アイルランド出身の文学者、脚本家、劇作家、評論家。

【情報メディア学科・日本文化学科・心理学科・食文化学科】共通 (11/15)

受験番号 () 氏名 ()

[illegible]

選考名	ファミリー入試Ⅱ期・社会人入試・帰国生入試・一般編入学試験
科 目	小論文

出題の意図

織田 正吉『笑いとユーモア』から課題文を準備して、作者の意見を読み解き整理することを求めた。あわせて自身の意見を述べることを求めた。定められた字数を有効に活用しながら、論理的な文章を記すことができるかを試すことを意図した。

解答のポイント

自身の意見を述べるためには、まず引用文の内容を適切に読み解くことが必要となる。内容整理の程度が問われよう。あわせ求められる自身の意見は、引用文の内容から大きく外れることが好まれない。文章が論理的に展開されているかが求められる。段落の使用や誤字等への注意も注意が求められる。